

「もしも」に備えて…。 避難訓練に参加しました。 4月22日(月) つき組

今日は今年度初めての避難訓練がありました。保育室と廊下で遊んでいる最中に非常ベルが鳴ると、突然のことでもすぐに遊びを止め、保育者の周りに集まったり、机の下に入ったりしていました。

今日の避難訓練は火災の想定だったため、机の下から出て保育者の近くに集まるように声をかけると、一か所に集まり静かに次の放送を待っていました。



避難訓練後、保育者が「このマーク知ってる？ 見たことある？」と非常口のマークを見せて尋ねると、「知ってる！」と言い「あ、廊下にあるよ！」と廊下を指して見つけた子もいました。(つき組の正面にも非常口があります)

こども園の中だけでなく「お買い物のところで見たとある」「遊びに行って見たことある」と外出先で見たことを覚えている子もいて『このマークは火災や地震が起きた時に逃げる出口の場所』という話をすると、真剣な表情で聞いていました。



その後、こども園には非常口のマークがどこにあるか、一緒に園内を探して回りました。「あった！」「ここにも！」と見つけては指をさし、宝探しのような感覚で非常口のマークや場所を確認していきました。



災害はいつ起きるか分からないからこそ、子どもたち自身が防災意識を持てることが大切だと思います。

非常ベルが鳴った瞬間に保育者の近くに集まったり机の下に入ったりする姿に、毎月の避難訓練で子どもたちにも防災意識が育まれ、身についてきていることを感じました。



お家でも「非常口のマークを探したの？」などとぜひ今日の避難訓練のことを聞いてみてください。また、お買い物などの外出先でも一緒にマークを探してみるなど、家族で防災やもしもの避難のお話ができるといいですね。